

5. 7 注入バルブの部品交換

注入量の再現性が低下した場合は、注入バルブのロータシール、ステータおよびステータフェイスを確認し、交換してください。

<用意するもの>

ステータ	(品番：0019707)	1個	
ステータフェイス	(品番：0019708)	1個	
ロータシール	(品番：0019709)	1個	
両口スパナ 1/4"×5/16"	(品番：0008308)	1個	付属品
六角レンチ 9/64"	(品番：0008314)	1個	付属品
ビーカ		1個	
蒸留水またはエタノール		適量	

<手順>

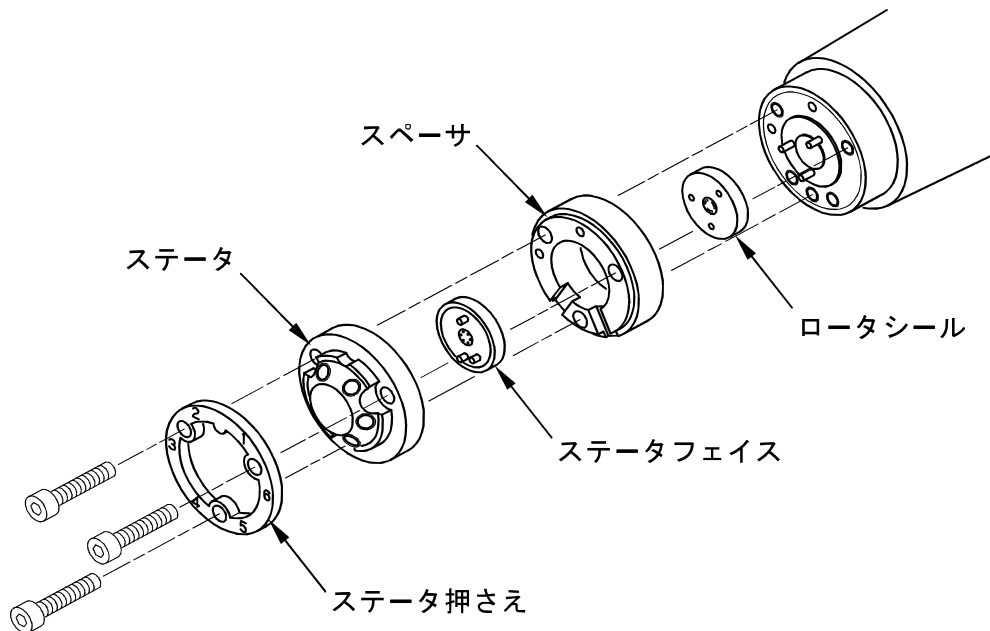
- ① ポンプ部の送液を停止します。
- ② 本機前面のドアを開き、注入バルブの2、3、5、6番ポートに接続されている配管（サンプル・ループ以外）を取り外します。
- ③ 六角レンチを用いて注入バルブのステータを固定しているボルトを均等に緩め、ステータ押さえ、ステータ（PEEK製）、ステータフェイス（セラミック製）、およびスペーサを取り外します。
- ④ ステータとステータフェイスの接合面およびステータフェイスとロータシールの摺動面を確認し、傷がある場合は新品のステータまたはステータフェイスと交換します。



- ・ ステータおよびステータフェイスに傷がない場合は、取り外したステータとステータフェイスを蒸留水またはエタノールの入ったビーカに浸し、超音波洗浄します。
- ・ ステータを交換する場合、ステータに装着してあるサンプル・ループの取り外しは、ステータをバルブボディに取り付けて行ってください。

5. 7 注入バルブの部品交換

- ⑤ ステータ押さえ、ステータ、ステータフェイス、スペーサをそれぞれの向きに注意して、突起部と穴が一致するように組み付けます。
- ⑥ 注入バルブのロータシールを取り外し、新品のロータシールと交換します。
- ⑦ ロータシールの溝がステータフェイス側になるように向け、ロータシールの穴をバルブ本体の突起部（3個）に合わせて取り付けます。
- ⑧ 組み付けたステータをスペーサの突起部（2個）をバルブ本体の穴に合わせて取り付け、六角ボルトで均等に締め付けます。



- ⑨ 注入バルブの各ポートに配管を取り付けます。

